

平成27年
蓮田病院
統一標語

**か
協**
かなう

蓮田病院広報

第42号 11・12月号

東日本大震災により
被災された方々、ご家族
の皆さまに心より
お見舞い申し上げます。

蓮田病院職員一同

日本はひとつ

蓮田病院理念

“思いやりのある やさしい医療”
“最新の高度医療”

発行：蓮田病院広報部
連絡先：048-766-8111 蓮田病院総務課
発行日：平成27年11月1日

お腹の傷跡がふくらんできたら ～腹壁癒痕ヘルニア～



外科医師 外科医長
近藤 純由



虫垂炎や胆石などのお腹の手術を受けられた方で、最近傷跡がふくらんできたという場合は、「腹壁癒痕ヘルニア」の可能性がります。腹壁癒痕ヘルニアとは、手術後に傷が化膿したり、やせていて筋肉を支える筋膜が弱かったりすると、いったん縫い合わされた筋膜が開いてお腹の壁に隙間ができてしまい、その隙間からお腹の中の脂肪や腸が飛び出してしまう状態のことを指します。特にお腹は運動や咳払いなどで傷跡に圧力がかかりやすいため、ヘルニアが起りやすいとされています。

通常は横になった姿勢でふくらみが消失しますが、痛みを伴いふくらみが元に戻らない場合は嵌頓(かんとん)といって内臓が飛び出したままの状態となっています。この場合は飛び出した内臓の血のめぐりが悪くなっている可能性があるため、早急な手術が必要です。痛みや皮膚の発赤を伴わない場合は、待機手術となります。

手術はふくらんでいるところを直接皮膚の上から切って修復する方法と腹腔鏡を用いてお腹の中から修復する方法とがあります。お腹の壁の隙間が小さい場合は再度縫合して修復します。隙間が大きい場合は人工の補強材を筋膜の代わりとして使用します。気になる症状がある場合は、外科外来へご相談ください。

インフルエンザワクチン接種のお知らせ

平成27年10月13日(火)よりインフルエンザワクチンの接種を開始致しました。

受付方法 完全予約制
(予約センター専用ダイヤル ☎048-766-8134)

受付時間 月～金 14:00～17:00

接種日時 火・水・金・土 15:00～16:00

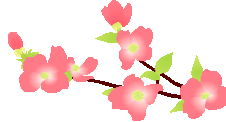
接種場所 検診センター

料金 一般の方 5,000円(税込み)
各市町村の公費を利用される方は、
各市町村規定料金で受けられます。

※妊婦・6歳未満の方は、近隣の産婦人科・小児科にて接種をお願い致します。



新しい事業年度が始まりました！



事務長
恒松 秀臣



蓮田病院の事業年度開始は毎年10月から始まります。病院事業は公共性が高く福祉的な色彩も強いので本来営利目的で経営するにはそぐわない面が多々あります。しかし当院は民間病院ですから、やはり赤字経営だけは避けたいと思っています。毎年9月の決算月には、結果を気にするので胃が痛くなるのが辛いところです。一年の最終結果を出すには決算確定という経理手続が必要です。医療法人として会計事務所の承認を経て概ね決算後2ヶ月以内を目処に埼玉県に決算申告する義務があります。安定した病院経営を継続するためにも是非とも良い結果をお知らせできればと願って已みません。

さて、話は変わりますが最近気になった話題を3つほど、ご紹介したいと思います。

一、医療法人顕正会が運営するサービス付高齢者向け住宅(略称サ高住)「花みずき白岡」が10月から業務を開始しました。サ高住は2011年に厚労省の肝入りでスタートし現在、全国で登録数は約185,500戸を数えています。中でも運営母体として医療法人が携わるのは珍しい方だと言えます。医療・介護の両面からきめ細かなサービスが受けられる点が入居者の皆さんには一番の魅力だと言えます。場所は、病院とJR白岡駅の中間に位置します。ご興味ある方は一度、当院ホームページをご覧ください。

一、2つ目は2015年のノーベル賞です。生理学・医学賞の大村智教授から始まり物理学賞の梶田隆章先生と自然科学の世界で日本人が活躍しているのはうれしい限りです。特に最近暗い話が多い中にあるのは、うれしい話題でした。

一、3つ目はワールドカップラグビーにおける日本の大躍進があります。決勝トーナメントには進出できなかったものの3勝を挙げ日本ラグビーが新たな歴史を作ったことは、2019年に日本で開催される次のワールドカップを前に、にわかラグビーファンが増えたのはうれしい出来事の一つでした。

最後に蓮田病院はこれからも患者様にとって頼れる病院を目指して切磋琢磨し「思いやりのあるやさしい医療・最新の高度医療」を実現して参ります。



外来化学療法における看護師の役割！

外来看護師 渡辺 道子

◇外来化学療法室のシステム◇

主治医は治療方針の決定とインフォームド・コンセントを行い、外来化学療法室の予約をし、薬剤師に予定している薬剤と投与スケジュール（以後レジメンと呼ぶ）について連絡します。当日は外来看護師が至急採血と静脈ルートを取り、診察後に治療の可否を決定、薬剤部に連絡し無菌状態の安全キャビネット内で薬剤を調整します。その後、2階の化学療法室で投与開始となります。当院では現在月曜日から金曜日まで化学療法を実施しています。

◇外来化学療法室の紹介◇

外来化学療法は、1時間から長い人は8時間に及ぶ方もいらっしゃいますので、化学療法室のベッドは耐圧分散型のマットを使い、出来るだけリラックスしてお休み頂けるようにテレビを設置しています。またウイッグの紹介などパンフレットを用意し、日常生活に役立てていただけるようしています。

◇外来化学療法室における看護師チームの役割◇

看護師の役割として以下のようなことをします。

- ・初回化学療法（入院時）の副作用の程度などの把握
- ・入院中の患者様からの情報収集→患者様自身の病気のとらえ方・取り組む姿勢・不安や苦痛の情報収集
- ・外来治療開始時、レジメンの照合と患者さんへの治療の説明、必要により薬剤師の訪問依頼と治療スケジュール管理
- ・化学療法の実施と治療中の有害事象の出現に関するモニタリング
- ・治療を継続していくための意思決定のサポート

◇自宅でのセルフコントロールの支援◇

- ・自宅に戻られてから出現することが予想される副作用に関する説明を十分に行います。
- ・その副作用に対する予防策、起こった時の対策、病院へ連絡すべき副作用の目安等をあらかじめお話することで、少しでも在宅における副作用をセルフコントロールできるようにサポートします。

当院では、外来で癌の告知を受け、不安な思いで自分の病気と向き合わなければならない患者様の心の痛みにできるだけ寄り添い、看護師はもちろん化学療法専門の薬剤師、栄養士、また他の医療スタッフと協力しながら的確に対処できるようにチームで支援しております。

やさしさ いきいきフェスティバル

平成27年10月25日（日）蓮田総合市民体育館（パルシー）において第20回やさしさいきいきフェスティバルに参加させていただきました。

当院は、医師・薬剤師・看護師・栄養士・事務の職員が参加し、骨密度測定を実施しました。約200名の皆様とふれあい、とても楽しく過ごすことができました。なかには『昨年も来たんですよ』とおっしゃる方や、整形外科医師から病気についての説明・栄養士からは食事の取り方の説明もあり、大変好評に終えることができました。

骨密度は、加齢とともに低下し、ささいなことで骨折する危険が高まると言われています。この機会に、皆様がいままでお元気にお過ごしいただけますように、少しでもお役に立てればと思っております。

文責：看護師 佐々木 久美子



編集後記

朝晩めっきり冷え込むようになりました。木々も色づき始め、奈良時代から始まったといわれる“紅葉狩り”の季節を迎えて、こと観光地では賑わいを見せているのではないのでしょうか。この“紅葉狩り”は「万葉集」にも登場し、また平安時代には、貴族が紅葉を愛でながら宴を開いたと「源氏物語」にも描かれています。紅葉を鑑賞するのに“狩る”という表現をするのは、花や草木を探し求めるという意味もあり、“いちご狩り”“ぶどう狩り”など果物を採る場合にも用いられます。

一説には、狩猟を好まなかった貴族が、自然を鑑賞することを狩りに例えたとも言われており、風情ある四季の楽しみ方のひとつの様です。

機会がありましたら、ぜひ日本ならではの習慣を堪能してみたいかがでしょうか。

広報委員 久保木 悦子

蓮田病院公開講座のお知らせ

日時：平成27年12月4日（金） 13:30～14:40

講師：1. 舌の痛みと口腔違和感

歯科医師 歯科口腔外科部長 秋月 弘道

2. 老眼について

視能訓練士 遠山 拓伸

参加費：無料

お問い合わせ：病診連携室 TEL 048-766-3660

※諸事情により講師及びテーマが変更になる場合がございますのでご了承ください。